

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年11月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103920
法人名	社会福祉法人陵風会
事業所名	グループホーム西谷山
所在地	鹿児島市上福元町5604 (電話) 099-260-1343
自己評価作成日	令和4年10月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年11月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中であなたの思いを大切に楽しく齟齬せるように明るい笑顔の絶えない雰囲気作りを念頭において運営を行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームはJR谷山駅に近く、病院や高等学校、コンビニや大型商業施設がある、大変利便性の良い住宅地の中に2階建て2ユニット体制で運営している。

「家庭的な雰囲気の中で、あなたの思いを大切に、楽しく過ごせるようにお手伝い致します。」の理念の下、入居時に本人や家族、入居前の医療機関や居宅介護支援事業所のケアマネージャー等により、情報収集すると共に、やりたいことや楽しみ事、出かけた場所や食べたいもの等、利用者の意向や思いを日常会話の中から汲み取り、可能な限り実現できるよう職員間で話し合い支援に反映させている。

ケアプラン作成においても利用者や家族の意向を十分に聞き取った上で残存機能の維持向上や自立に向け期待できる支援計画になるようカンファレンスやモニタリング、主治医等の意見も参考にしながら実践可能なケアプラン作成に努めている。

コロナ禍の現在、外出や外食を控えたり、地域行事への参加が中止となっていることから楽しみ事や地域住民等と触れ合う機会が少なくなっているため、季節メニューの食事の提供やお寿司のテイクアウト、また、菜園でのさつま芋収穫など、楽しく過ごせるよう意見を出し合い日々の生活支援につなげている。

利用者一人ひとりの人格の尊重は大変大切な事ととらえ、計画的に研修会を実施して、プライバシーを損ねない声掛けの仕方や接し方についてを学ぶ機会を作り、羞恥心に配慮したケアに反映させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	授業所の理念があり毎朝、朝礼後に唱和し日常の介護に活かすように努力している。	「あなたの思いを大切に」という文言を含む理念と運営方針をフロアと事務所に掲示し、朝礼時に唱和することで意識付を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会には加入しているが、コロナ禍の為交流はしていない状況です。	コロナ感染症拡大に伴い、現在職場体験の受け入れを中断しているが、感染状況に合わせて受け入れることはできないか検討しているところである。施設周辺を散歩した際に地域の方々と挨拶や会話を交わしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	中学生、専門学生の実習を受け入れしていたが、コロナ禍の為受け入れ出来ていない。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為になかなか運営推進会議が出来ていない。	これまでは包括支援センターの職員や民生委員等が参加して会議を開催していたが、コロナ禍の現在はホーム職員のみで話し合いを行い、行政に報告書を提出している状況である。今後は感染状況に応じた会の開催を検討していきたいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>コロナ禍の為取り組めていない</p>	<p>行政とは介護認定申請等の書類提出時や相談事がある時、利用状況の報告のため等に電話や訪問で話をしている。また行政主催の研修会にもリモート参加する予定になっている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアに取り組む「帰りたい」と言われる方には、一緒に外へ出て散歩をしたり、本人様と会話を持ち傾聴している。</p>	<p>「身体拘束廃止マニュアル」を備え、拘束や虐待に関する研修会を年3回程度実施すると共に、3か月毎に身体拘束廃止委員会を開催して身体拘束に関する理解を深めている。また、言葉による拘束については、職員の不適切な言動に気付いた時は、その都度職員間で注意し合える関係ができています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待のアンケートを取ったり入浴時や更衣介助に時など身体確認を行い見過ごされることがないように注意を払い全員で防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>学ぶ機会を設け活用できるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、退去時、必要時には、十分な説明を行ないご理解の上納得を得られるように図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年1回のアンケートの実施したり来所持や便りなどを利用し声を聴けるように心がけている。</p>	<p>理念に「あなたの思いを大切に」とあるように、日常会話の中でやりたいことや食べたいもの等を尋ね、可能な範囲で実現できるよう支援につなげている。また、家族からは面会時に要望を尋ね、運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議や朝礼時に意見を聴いたり日頃より意見や要望等を言いやすい雰囲気作りに努めている。</p>	<p>職員の意見を毎日の申し送り時や職員会議で確認すると共に、職員全員が自由に意見を記入できる申し送りノートも活用して意見を汲み取り、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>働きやすい雰囲気作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍の為なかなか研修会などの参加できる機会がなかった。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ZOOMを使い情報交換など行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人を始めご家族の方から、情報を集め少しでもスムーズに安心して生活していくことが出来るように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の意向、困っている事今必要なことなど聴き家族が安心できる関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族が必要としているサービスを相談を受け必要に応じて対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーションなどを通して共に良い関係作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の訪問時には日々の様子等説明し声掛けして頂けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の為面会外出出来ていない。	入居前の医療機関や居宅介護支援事業所のケアマネージャー等の情報も参考に、これまでの人間関係や馴染みの場所を把握し、入居後も関係が途切れないよう電話の取り次ぎやお墓参り等、希望する場所に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者全員での体操や歌など唄い皆さんが楽しく過ごせるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	次のサービス事業所に情報を提供したりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に希望にそって支援に努めるように努めている。	日常会話や日々の行動、表情等から利用者の思いを汲み取るほか、家族に好きな音楽や好きな事を尋ねる等して思いや意向を把握している。把握した内容は申し送りノートで情報を共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの個人情報を集約し、分析を行いカンファレンス等で全員が把握できるように取り組んでいる。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の心身状態を大事にし生活出来るように努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や申し送りなどで本人の課題や家族の意見も取り入れながら計画を作成し、一人ひとりのニーズに合わせた介護計画づくりに努めている。	本人、家族の意向を基に主治医や訪問看護師のほか、毎月のカンファレンスやモニタリングを参考にしてケアプランを作成している。また、入院等の病状の変化時だけでなく、本人や家族の思いの変化に合わせてケアプランを見直し、必要に応じて現状に即したケアプランに作り直している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日誌に記録したり状態変化にその都度対応している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の希望やニーズに対応して柔軟な支援サービスが出来るように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問美容サービスの活用はしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連絡を密にし状態の変化など対応している。必要に応じて往診を行って頂いている。	入居前のかかりつけ医や受診の経過を把握し、入居後も希望する医療機関を受診できるが、訪問診療や医療連携が図れる安心から協力医療機関をかかりつけ医としている利用者がほとんどである。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>必要時の受診など、適切に対応している。いつでも24時間対応して頂いている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入居時にはサマリーで情報を共有し電話連絡することもある。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>連携する病院と連絡を取り状況、状態に合わせた支援を行っている。</p>	<p>入居時に重度化や看取りに関する説明を行うと共に、入居後状態に変化が認められた場合に改めて「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」を説明し同意を得ている。これまでに看取りを行ったケースはあるが、最近では家族の意向等から入院されるケースが増えてきている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員で話し合いをし、手順などを書いた用紙を見える所にはっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	定期的に避難訓練している。	<p>災害マニュアルを備え、1回は避難経路の確認や誘導等に関する自主訓練を、1回は消防署立ち合いによる火災訓練の計2回訓練を行っている。備蓄に関しては飲料水や食料品を備えるほか、カセットコンロや懐中電灯等の備品もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	性格を見極めその方にふさわしい、声掛け対応している。	プライバシー保護や権利擁護に関する研修会を年間研修計画に組み込み実施しており、排泄や入浴時の羞恥心に配慮したケアにつなげている。また、個人情報保護に関しては、職員からも守秘義務に関する同意書を取り交わしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の状況によっては行動に付き添い自己決定出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者ひとりニーズに合った支援を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	3ヶ月に1回訪問美容を利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆さんに好きなメニューを聴きメニューに取り入れている。食事作りや片付けが出来る利用者の方には一緒にしている。	お盆拭きやもやしの根切り、コップ洗い等の食事の準備を利用者も日常的に手伝い、1週間分の献立表に食べたいものや好みのものを反映させて楽しく食事をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量が不足しがちなためお茶だけではなく、ジュース類や果物などを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは実施。必要な時は訪問歯科を利用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗の多い方には早めの声掛けをしトイレに行っていた。	ポータブルトイレを使用する方も基本的に日中はトイレを使用することで活動量を維持すると共に、夜間はパットの容量を多くすることで汚染軽減につなげている。なるべく失敗しないよう排泄チェック表を活用して早めのトイレ誘導に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食時にヨーグルトを提供し、おやつの中にはイモ類などを出しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回行っている。体調のすぐれない方には違う日に入れるようにしている。	週3回の入浴を基本としているが、毎日湯張りはかかさず、予定当日入浴したくないと言われた時は翌日に入浴できる等、利用者の気分や体調に柔軟に対応することができている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	良い季節の時期には外へ出て日光浴などしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日々に状態を把握して徐薬出来るものは医者に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事に変化をもたせお店で注文したものを昼食に出したり、誕生日などにはケーキを提供している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の為あまり外出は出来ていないです。人が少ない日などに近くの公園に桜を見に行ったりしています。	コロナ以前は毎月外出し、外食にも出かけていたが、現在は感染症に配慮してドライブが主流になっており、桜やコスモス等、季節の花見を車窓から行っている。また、気分転換と運動を兼ね、ホーム周辺の散歩を個別に行っており、近所の方と挨拶や会話を楽しむ機会になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	ほとんどの方が事務所で管理している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	希望する利用者の方にはゆっくり話が出来るように支援している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	浴室内にエアコンの設置しヒートショックなどの予防をしている。	玄関近くが食堂兼フロアになっているため、玄関からホームに入った時にとても開放感があり、また、床が板張りで木目調になっているため温かみを感じられる。トイレは手すりの配置や介助スペースが十分確保されており、廊下から少し奥まっているため羞恥心にも一役買っている印象を受ける。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	一人ひとりの居室はあり、食事レクリエーションなどはホールで過ごしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室でも楽しめるようにテレビやラジオを置いたり工夫している。	各居室は電動ベッド（約半数）、タンス、ハンガーラック、洗面台が備えられるほか、テレビや仏壇、位牌等、自宅から持ち込まれた馴染みの品を自由に配置することで居心地に配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの部屋の入り口には自分の部屋だとわかるように名札を設置している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない